



❖取組を開始したきっかけ

前述のとおり、栄町商店街のエリアは周辺に美術館が複数あり、芸術家や芸術を愛する人々が行き交うなど、芸術にゆかりのある地域である。更に平成22年5月、商店街内に愛知県立芸術大学のサテライトギャラリーがオープ

ンした。

商店街では、この年を「アートストリート元年」とし、このエリアを「商業の街」としてだけでなく「芸術の街」としても広く打ち出す取組「アートストリート事業」が始まった。

取組の概要 >>>>

愛知県立芸術大学と連携し、同大学の学生の彫刻作品を広小路沿道に設置しているほか、街路灯フラッグのデザインを学生が手がけている。商店街を若手アーティストの発表の場としてもらうことで、若手アーティストの育成に貢献できたと考えている。それ故、作品は3～5年おきに入れ替えることにしている。



沿道に設置された彫刻作品

また、名古屋芸術大学とも連携し、平成24年に「街なかで、自然とくらしを楽しむためのワークショップ」を設置した。ワークショップでは、栄町の歴史や自然に関する情報を詰め込んだマップを作成した。マップは取えて文字を手書きにし、歴史を感じさせるレトロなデザインとなっており、老若男女が目で楽しめるものになっている。一方、マップの裏面は、前述の愛知県立芸術大学の彫刻作品を紹介するマップになっており、古いものと新しいものの融合が図られている。

さらに、当商店街では平成18年から「広ぶら芸ぶら文化祭」を開催している。文化祭では、小学生絵画コンクールが行われ、優秀作品は陶板のタイルに焼き付け、店舗前の歩道に埋められている。現在、その作品の数は約100枚にもものぼるが、数十年後、成長した子ども達が商店街で自らの作品と再会し、当時の思い出に浸ってもらえればと考えている。なお、当文化祭は「あいちトリエンナーレ2010・2013」のパートナーシップ事業として位置づけられている。

沿道に設置された彫刻作品



小学生の絵画展示と店舗前歩道に埋められた陶板タイル



❖取組を開始したきっかけ

近年、名古屋にゆかりのあるノーベル賞受賞者が次々に輩出されており、日本のノーベル賞受賞科学者16人のうち実に6人が愛知・名古屋にゆかりを持つ。この事実に着目した栄町商店街は、世界に誇れるこの名古屋の地域

資源を活用し、更なる賑わいの創出を図るため、平成25年5月に広小路に受賞者の手形モニュメントを設置することとした。

取組の概要 >>>>

現在設置されている手形モニュメントは、名古屋大学で研究に従事するなど名古屋と深い関わりを持つ野依良治博士(2001年化学賞)、益川敏英博士(2008年物理学賞)、小林誠博士(同左)、のお三方のものだ。平成25年5月には、そのお三方を招いて除幕式を開催した。手形は子どもが触れられるよう取って低い位置に置かれており、子どもたちが手を重ね合わせることによって未来への夢と希望を抱いてもらえたらとの思いがこめられている。除幕式には地元の小学生20名が招待され、天才にあやかろうと早速群がって手を重ねる光景が見られた。

手形モニュメント



▲ノーベル賞受賞者手形モニュメント除幕式・記念祝賀会の様子

❖取組の効果・課題等

「アートストリート事業」や「ノーベル賞受賞者手形モニュメント」によって、パリとの姉妹提携から学んだ、歴史や芸術など地域の特色を活かした独自のまちづくりを実現しつつあることは大きな成果と言える。ノーベル賞に着目した取組を行ったことで、科学と文化のコラボレーションという更なる個性を打ち出すことができた。手形モニュメントは、今後も徐々に増やしていく予定であり、栄町商店街が「ノーベル賞の散歩道」と呼ばれる日も近いだろう。今後はパリ以外の海外の商店街と提携することも検討しており、海外の色々な事例を学ぶことによって世界に誇れるショッピングストリートを目指していく。

また、2027年に予定されているリニア中央新幹線の開通によって、遠方との往来が格段にしやすくなる。それによって、国内はもちろん海外からも多くの人を呼べるのか、それとも逆に東京など他の地域に集客を奪われてしまうのか、どちらにしろ栄町商店街が受ける影響は少なくない。そういった意味でも、他にはないような魅力あるまちづくりへの取組を今後も続けていくことが、名古屋だけでなく東海地方全体の発展のために重要であるといえる。

なお、海外も含め遠方からの観光客を増やすには、陶器や工芸品といったこの地方の特産品や、日本の骨董品・美術品などを売る店が必要だと感じている。一流ブランド店だけでなく、他所では買えない商品を扱う売場をメインストリートに配置して目立たせることで、更なる魅力向上につなげたい。また、トランジットモール(公共交通機関以外の車両通行を制限した歩行者用道路兼商業空間)やオープンカフェ等も視野に入れている。

これらの取組により、「やはり名古屋の中心地は栄だったね。」と言われるようになることを目指していく。



平成26年2月に新たに設置された街路灯

商店街DATA

「栄町商店街振興組合」

<http://www.sakaemachi-shotengai.com/>

所在地 ● 名古屋市中区錦三丁目23番31号
栄町ビル6階

アクセス ● 地下鉄栄駅 徒歩5分

設立年月日 ● 昭和39年

組合員数 ● 67名

代表者 ● 坪井 明治

TEL ● (052)962-7143

Mail ● office@sakaemachi-shotengai.com

